つぼみぐみだより

2023. 8. 31 発行　ひらお保育園

あれほど元気に響きわたっていたセミの声も徐々に減り、日暮れに鳴くヒグラシの声が夏の終わりを感じさせてくれます。

今年の夏も本当に暑い日が続き、登園するだけでも汗だくになる日も多かったかと思います。視診の時から「あれ？〇〇ちゃんシャワー浴びてきたのかな？」なんてお話で笑い合う日もありましたが、そんな時には沐浴や清拭でサッパリして、清潔に心地良く過ごせるようにしてきました。

初めは沐浴室やシャワーの音にドキドキして保育者にしがみついていた子たちも、回を重ねるごとに心地良さを感じ、表情がやわらぐと共に力が抜けていきました。お湯につかってリラックスしている子どもたちの表情を見ていると、思わず「い～い湯だな、アハハン♪」と歌いたくなってしまいます。中には初日から頭にお湯をかけられても全然気にせずへっちゃらな子もいて、むしろまだまだ遊んでいたくて、おもちゃを握りしめ、“離すものか！ここから出るものか！”とアピールする可愛い姿も見られました。

夏期保育中はお休みの子が多い日もあったので、お部屋でゆったりと過ごしました。休み明けの子どもたちは、少し見ない間に寝返りができたり、つかまり立ちができるようになったり、驚くほど安定して歩けるようになっていたりと、休み前よりも少し成長した姿を見せてくれました。

これから涼しくなったら、お散歩や園庭遊びをたくさん取り入れていきたいと思っています。心地よい秋風の下、自然に触れ、たくさん探索を楽しむ子どもたちがどんな表情を、どんな成長を見せてくれるか、今から楽しみです。

どんな靴を選べばいいの？

つぼみ組の子どもたちも少しずつ歩行し始める子が増えてきました。これから涼しくなると園庭や散歩等、靴を履く機会が増えてきます。そこで今回は靴選びのポイントをご紹介します。

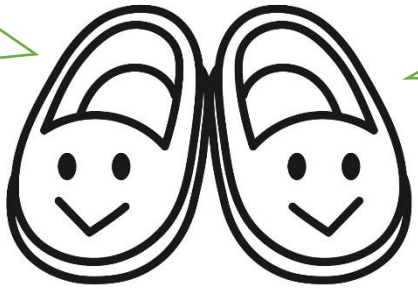
靴と一言で言っても、いざ買おうとするといろいろなデザインや種類があり迷ってしまいますよね。靴選びは子どもの足の発達や土踏まずの形成などにおいてとても重要になります。今後ご購入される方はぜひご参考にしてみてください。また、子どもの足はすぐに大きくなっていきます。定期的にサイズの確認をし、大きさの合った靴（つま先に 7～8 ㎜程度のゆとりをとったサイズ）を履くことも大切です。持ち帰った際には、サイズの確認をすることを習慣にしてくださいね。

かかとはしっかり硬さがあるか
足が靴の中で動かないように固定する事で、安定した歩行が可能になります。

足の甲が微調整できるか
足に合わせて調節できるマジックテープタイプを。

足が曲がる位置で靴も曲がるか
厚すぎて曲がりにくい靴底に注意！

つまさきが少し反りあがっているか
反りあがっていないとつまずきやすくなります。



靴底に適度な弾力はあるか
地面からの衝撃を和らげ足を守ることが大切です。